

篆隸万象名義

篆隸万象名義は現存する日本最古の漢字辞書である。高山寺が所有している文書は830年から1114年の間に編纂され、唯一現存する写本であり、研究者にとって極めて貴重なものとなっている。

辞書は密教的な真言宗の開祖である空海(774~835年)により830年に完成した。それは空海が中国での留学後に日本に持ち帰った古代中国の辞書『玉篇』に基づいている。空海は著名な学者、詩人、書家でもあった。